

市民主役のまちづくりの実現に向けた検討会（第1回）

～Bグループのまとめ作業～



まとめ方

- 1 Bグループは、8名が出席（1名欠席）。3つの組に分かれて作業を行った。
- 2 各組で無作為抽出のワークショップ、市民100人大ワークショップの成果物（模造紙）から“市民の想いとしてまとめたい”意見（付箋）をピックアップした。
- 3 ピックアップした意見をグループで共有し、市民にできること、双方にできること、行政に期待することを分類した。

第1回のまとめ

| 市民にできること | 市民と行政双方にできること | 行政に期待すること |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・戸別収集（ごみ減る） ・責任を持つ ・P R、町内自治会で働きかけ ・ごみ出し場所を美しく統一的に！ ・とりあえずあいさつから ・共有する ・困ったこと楽しかったことをきく ・自由に気軽に集まる ・自治会活動の現状を知る、いいところをどんどんまねる ・体力づくりについて ・元気な高齢者の地域活動への参加→定年世代の地域社会への価値観の転換を促す→元気な高齢者の地域での活躍 ・いつでも気軽に集えるサロンづくり ・近所、高齢者同士のふれあい ・集まる場所がほしい ・子どもへの農作業の指導（プレーパーク） ・高齢者同士の仲間づくり ・集いの場（子どもや年配者が楽しく参加できる） ・集まる場所に1分間ルール（市の特徴として） ・こどもを通して交流 ・子育て中の人の社会とのつながり ・地域の集まり ・自治会同士の横のつながり→地域留学（例：磯辺↔打瀬） ・市民と学校の交流を広げる ・ごみ出しボランティア参加の仕組みづくり ・外国人にわかる分別説明ができる人のサポート ・良い活動を教えてもらう ・どうやって参加意識をもってもらうか ・高齢者のごみ出しを助ける ・買い物支援（荷物を家まで運ぶ） ・シニアが子育てサポート ・子育てママ子ども同士の口コミ ・出会いの機会が増える行事づくり ・リーズナブルな気軽な場所 ・高学年以上子どもルーム（まちのシニアがお相手します！） | <ul style="list-style-type: none"> ・分別をわかりやすくする ・教育をする ・広場で朝市 ・ごみ減量目標 ・既存施設の活用 ・空き家の活用（キッチンがある建物） | <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 ・焼却場1つ減らす目標 ・レジ袋はすべて有料に！ ・空き家の特定 ・適切な場所の提供 ・P R、市の広報→写真を写して回観 ・自治会活動の情報提供 ・自治会、交流会、会議の議事録作成（←市も現状把握） |
| <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に参加できる集会 ・居場所づくり ・交流の場を設ける、ルールを作る ・S N Sをより有効に活用 ・企業も積極的に地域に関わる（イベントの手伝い、あいさつ） ・団体と団体をつなぐ | <ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生も巻き込む ・プレーリーダーの養成 ・企画立案の能力を身につける | <ul style="list-style-type: none"> ・情報開示 ・学校施設の開放 ・ワンストップ窓口の幅を増やす ・交流イベント等の後援・公認をする |

| 市民にできること | 市民と行政双方にできること | 行政に期待すること |
|--|--|---|
| <p>【市民活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中で行われる活動 ・高齢者対象のサロン活動をする ・堀りこたつで体験経験できる出し物を提供する→時間的な提供（大人として） ・リタイアした方による職業教育 <p>【自治会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会を何とかしないと（加入者、世代） <p>【身近でできること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低木の剪定、歩道の花壇整備→ちばレポを活用する <p>【市民コミュニティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いに近所の人を顔見知りにすること ・子どもが騒いでも大目に見るおおらかさ ・地域でどれだけのニーズがあるか繋がりの中で把握する | <ul style="list-style-type: none"> ・6次、7次産業→これまでなかったような視点、着眼点に着目した取組み | <ul style="list-style-type: none"> ・医療、子育て、高齢者、環境、生活→市民が願っていること <p>【場（制度）づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所づくり（高齢者の居場所）→誰でも気軽にふらっと立ち寄れる場所、既存の場所をそのような機能に位置づけることは行政として指定してほしい ・居場所をつくる（今はあまりない）（児童館）→公共の施設、一般のご家庭開放・統廃合小中学校の活用 <p>【情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犯人の情報公開 <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域団体への助成金 <p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車専用レーンをつくる <p>【市民団体の連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体がつながる、顔を合わせられる場づくり→諸団体の連携体制づくり |
| <p>【外国人との交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流したい人が選べる ・自治会、学校からの宣伝 ・お国の料理教室を開く、お国の武術を披露してもらう、民族音楽の集い・イベントの開催、一品持ち寄りのお食事会 ・安価でコーヒー、お茶を飲める ・子ども達に日本語教室を開く、日本語塾、外国籍のお子さん向けの宿題塾 ・国際交流協会日本語教室分室 ・災難時の時の助け合い運動 ・国際交流協会（団体）と国際交流課（市）と地域支援コーディネーター（地域）の連携 ・育休中の親+地域の方+子育て支援員、神田外語大との協力 ・外国の方々と同じ目線で話し合う機会 ・市内で交流機会をつくり、アピール ・市政だよりなどに外国人の集いの広報をしてもらう ・自国同士のかたまりができる前に（住民票登録時）地域交流 ・趣味のことでも生活のことでも話す相手がいる（利害関係がない） ・ごみ袋に名前を書く、ごみ袋を透明にする | | |

写真

